



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「聖地旅行」その⑩

ドローサーを抜けてエルサレム旧市街を歩いている時だった。突然、一行が立ち止まってしまった。聞くとガイドはじめ先頭集団がいない。道に迷ってしまったのだ。それぞれ回りの店や歴史的建造物をキヨロキヨロしながら歩いているので、つい先頭集団を見失ってしまったのだ。僕はいつもしんがりとして、落ちこぼれる人々を拾って歩くのが仕事なので、道に迷ったことすらも知らなかった。そこで探し回っていると、マルコスという背の高いガイドさんが逆に僕らを探しあててくれた。地理の分からない所で道を見失うほど心細いことはない。その時も、彼のこぼれるような笑顔に一同ほっとさせられたのだ。

イザヤ書に、「かしこに大路あり、その道は聖道となえられん：これを歩むものはおろかなりとも迷うことなし」(三五・8)とある。救い主が私たちの人生の道案内をして下さるというのだ。これほど心強いことはないではないか。

それから一行は神殿の南側の壁に着いた。そこは主イエスが直接歩いたであろうという石段が当時のままに残っている。神殿の回りでそのような石段は、ここにしかない。かつて人類として初めて月に足跡を残した宇宙飛行士のアームストロングがここに来たことがあり、その時に次のように言ったという。「私が月に着陸した時よりも、主イエスがここを歩いたという所に立ったことの方がもっと感動でした」と。さもありません。思わずその石段を愛でたくなるような感動が心から湧き出てきたものである。実にそこには去り難い何かがあった。

それにしても、もう六日間も歩きっぱなしなので、ふだん歩いている僕でさえ足が棒のようになっていた。ましてや一行の多くは僕よりも高齢の人たちだ。お昼時、ある姉妹がテーブルに突っ伏したかと思うと、そのまま寝込んでしまった。後で彼女は「十五分は寝たかしら」と言っていたが、よほど疲れが溜まっていたのだろう。だが、この聖地は見所が多くさらに強行軍が続く。

七日目早朝もホテル近辺を歩くことにした。前日は地図もなく同室の稲野先生と二人で北に向かって歩いたのだった。そこで今日は南に行こうというので、足早に歩いていると人だかりがある。そこを通過してゆくと何とダマスコ門に着いてしまった。それは幸いとばかり中に入ってゆく。でも迷わないように、とにかく真っ直ぐな隘路をしばらく歩いてると監視所があり、兵士が数人立っているではないか。「どうしてここに監視所があるのか」と尋ねると、「すぐ目の前が西壁だから」と言う。僕は知らずに西壁に着いていたのだった(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

